

WindowsPC 向け Audacity の利用案内

2024/04/01 更新 ICT サポート

遠隔授業教材として音声ファイルを作成する際の参考資料です。

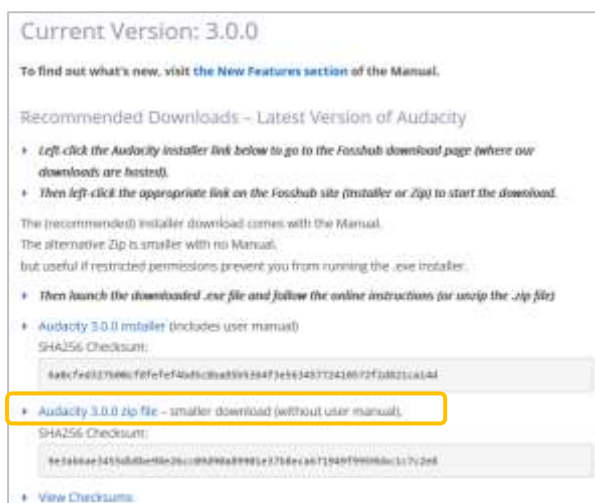
Audacity を利用した録音・音声ファイルの作成・編集・保存の手順を案内しています。

Audacityのインストール(ZIP版)

下記 URL にアクセスします。

<https://www.audacityteam.org/download/windows/>

Audacity 3.0.0 zip file 配布ページに移動します。

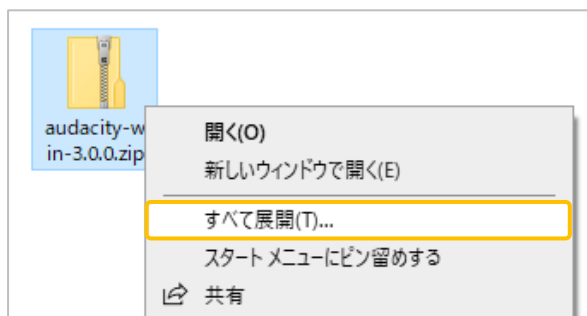


「Audacity Windows Zip」をクリックするとダウンロードが始まります。

PC 内のお好きな場所に保存してください。

	DOWNLOAD	FILE	SIZE	VERSION	WITHHOLD
CODEC PACKS	Audacity Windows Installer	Signature	28 MB	3.0.0	0 / 15
DATABASE	Audacity macOS DMG	Signature	39.4 MB	3.0.0	0 / 15
DEVELOPER TOOLS	Audacity Linux Source	Signature	12.7 MB	3.0.0	0 / 15
DISK ANALYSERS	Audacity Windows Zip	Signature	11.9 MB	3.0.0	0 / 15
EBOOK APPS	Audacity Manual	Signature	22 MB	3.0.0	0 / 15

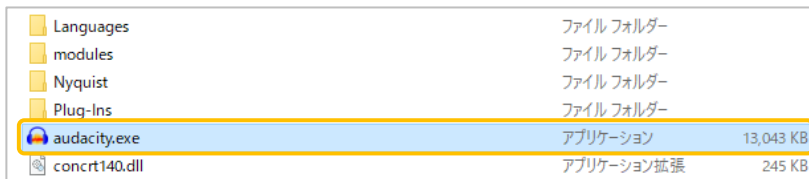
保存した[Audacity-3.0.0.zip]のフォルダを右クリックし、「すべて展開」します。



以上で、インストール作業は終了です。

起動・録音準備

展開したフォルダの中から、「audacity.exe」を起動します。(起動には少し時間がかかる場合があります。)

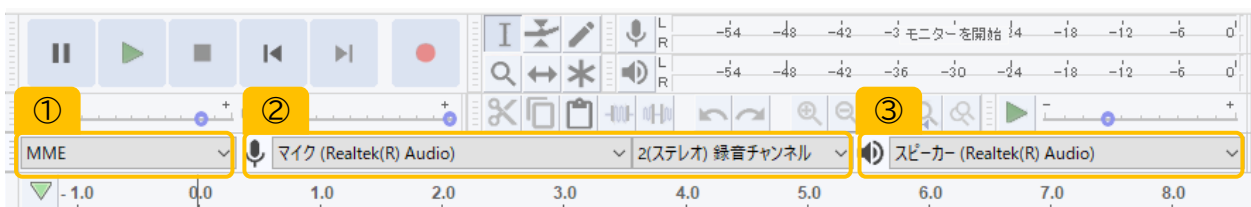


マイクで録音

マイクを使用して音声を録音する場合は下記の設定を行います。

ノート PC では多くが内臓マイクを備えていますが、必要に応じてマイクをご用意ください。

- ①Audacity を開き、画面左上のオーディオホストタブで「MME」を選択。
- ②マイクアイコンの隣にある録音デバイスタブで「マイク」を選択、さらに隣の録音チャンネルで「2(ステレオ)」を選択。
- ③音量アイコンの隣にある再生デバイスで「スピーカー」を選択。

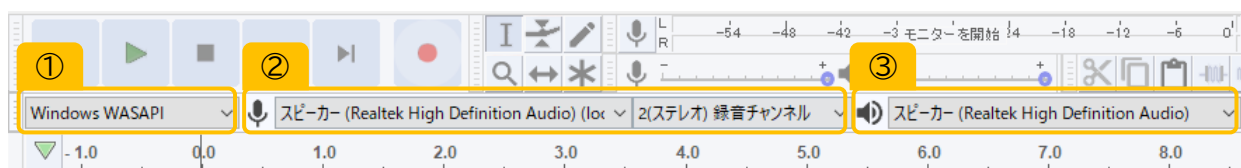


PCの音声を録音

PC の音声だけを録音する場合は下記の設定を行います。

読み上げ機能でナレーションを録音するケースを想定しています。

- ①Audacity を開き、画面左上のオーディオホストタブで「Windows WASAPI」を選択。
- ②マイクアイコンの隣にある録音デバイスタブで「スピーカー」を選択、さらに隣の録音チャンネルで「2(ステレオ)」を選択。
- ③音量アイコンの隣にある再生デバイスで「スピーカー」を選択。



録音操作

録音開始、停止、一時停止は下記のボタンで行えます。

長めに録音しておき、後から無音部分を編集で削除することも可能です。



録音した音声の編集:無音部分の削除

無音部分を有音部分から分割して削除する

録音した音声に無音部分がある場合、そこだけを削除し、有音部分同士を詰めることができます。

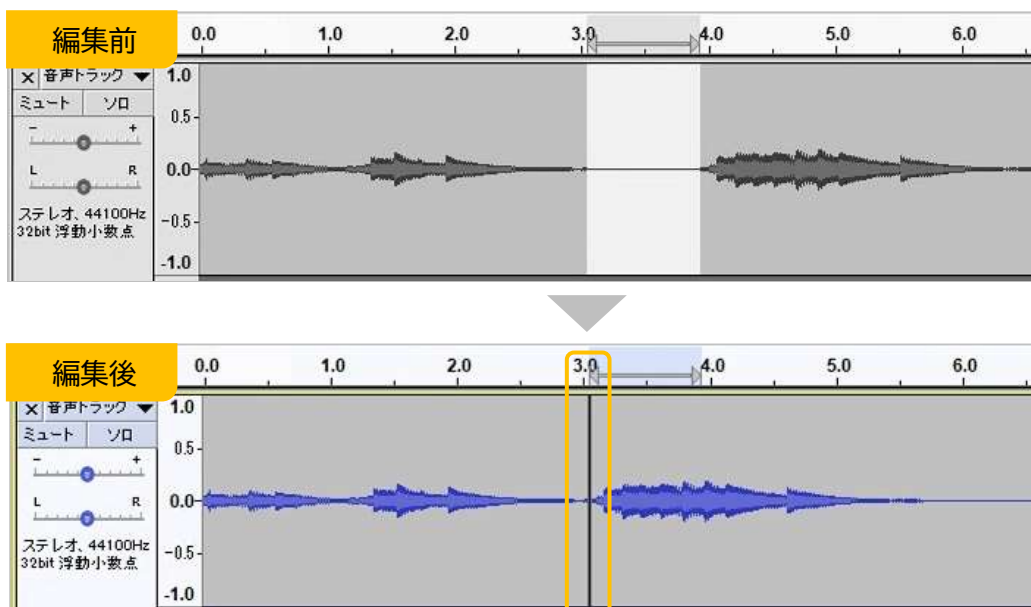
- ① 削除したい無音部分を左クリックしながらドラッグして選択します(明るい水色に反転します)。



- ② 各種ツールアイコンから「✂切り取り」を選択します。



- ③ 「切り取り」をすると無音部分が消え、有音部分が連続して聴こえるようになります。



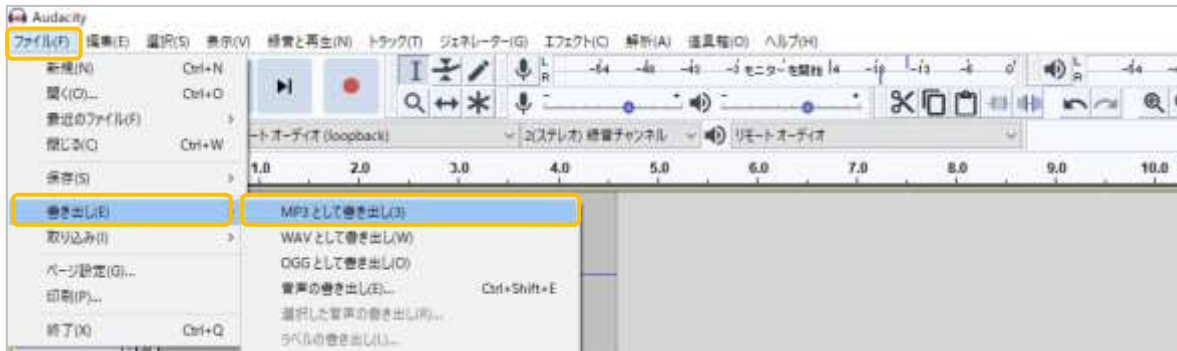
録音した音声をmp3形式で保存する

通常の保存手順

録音した音声を保存します(これは、「マイクで録音」「PCの音声を録音」どちらも共通です)。

このとき、mp3形式で保存すると、ファイルの容量を削減することができます。

- ① 「ファイル」を選択し、「書き出し」、「mp3として書き出し」を選択します。



- ② 「保存する場所」にお好きな保存先を選び、「ファイル名」を記入し、「保存」をクリックします。
- ③ 「メタデータタグを編集」ウィンドウが出た場合、そのまま「OK」をクリックします。

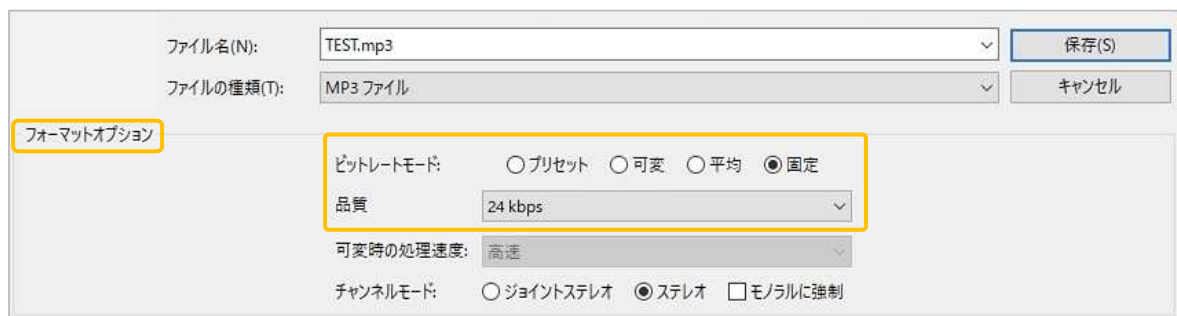


固定レートで保存する際の手順(音声ファイルのサイズを小さくする)

録音した音声を mp3 形式で保存するだけでも、ファイル容量の削減になりますが、

ビットレートを固定することによって、さらなる容量の削減が見込まれます。

上記の「通常の保存手順」に加え、②のウィンドウの下部にある「フォーマットオプション」を変更します。



「ビットレートモード:固定」、「品質:24kbps」を推奨しています。

上記のような設定を選択し、②の手順同様に、「ファイル名」を記入し、「保存」をクリックします。

保存の際は、別のファイル名を付けることをお勧めします。